① 子どもが輝き　人と文化を育むまち事業

（すずっこまんなかプロジェクト（子育て応援講座））

【実施事業内容】

核家族化により、支援者や相談者が少なく、養育者（こどもを養育している親など）が孤立したり、子育てについて相談する機会が少なくなってしまったりしている。児童虐待に至らなくてもこどものかかわり方やしつけに悩む養育者は多くいらっしゃいます。

こどもを養育している方やこれから養育する予定のある方を対象に、具体的な子育て手法や、しつけ方法を学ぶ講座や講演会を実施しました。

本講演会において、こどものかかわり方やしつけに悩む養育者の方々の一助となることで、児童虐待の未然防止につながる効果を期待しております。

〔講演会〕

日時：令和7年8月23日（土）10:30　～　11:30
場所：〒513-0802　三重県鈴鹿市飯野寺家町810
　　ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）
対 象 者：子育て中の保護者やその家族
講　　師：てぃ先生（現役保育士、育児アドバイザー）
内　　容：「イライラしない子育てのコツ」

〔体験学習〕

日　　時：令和7年8月23日（土）13:30　～　15:00
場　　所：〒513-0802　三重県鈴鹿市飯野寺家町810
　　ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）
対 象 者：小学生3年生以下とその家族
講　　師：鈴鹿大学　学生（こども教育学部及びボランティア部）
内　　容：「みんなで遊ぼう」と題して、ことば遊び、なぞなぞなどの体験学習を行った。

② 生命と財産を守り抜ける　安心・安全のまち事業　（避難所環境の整備）

【実施事業内容】

夜間や休日などに施錠している避難所を災害時にいち早く解錠するため、揺れを感知して自動解錠するキーボックスを設置し、その中に避難所の鍵を収納する取組を進めています。

令和７年度には、１４か所の避難所に設置することができ、その一部に企業版ふるさと納税を活用させていただきました。本事業により、大地震の際、市民が自主的に避難所を早期開設することができ、避難者の安全・安心に繋げることが可能となりました。

③持続可能な産業の発展と　にぎわいや交流が生まれるまち事業
（雇用経済政策推進事業）

【実施事業内容】

当市では、市内企業、高等学校、高等教育機関、鈴鹿商工会議所などの産学官で構成された鈴鹿市雇用促進連携協議会が中心となり、令和６年度から市内の雇用の促進を図るべく、「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」と称し、様々な取り組みを実施しております。

本プロジェクトでは、学生をはじめとした全ての求職者を対象に、市内企業のPRや市内企業とのマッチングイベントを行うほか、企業の採用力の向上を図る取り組みなどを展開し、更なる雇用の拡大を図っております。

特に、令和７年度においては、高校生や大学生を対象に、企業を講師として高校や大学に招き、企業PRに加え企業の課題解決を図る取り組みとして、「企業参加型の出前講座」の実施をはじめ、高校生の職業観や社会観を醸成し、市内企業での就職の促進を図ることを目的とした「鈴鹿市高校生向けインターンシップ」、大学生を対象とした企業見学ツアー「シゴトラベルinすずか」、大学生に市内で活躍する多様な職種・業界を知ってもらい、地元就職や定着の促進を図ることを目的とした企業と大学生の交流会「すずか職種研究会」、留学生の雇用の創出

を図ることを目的に、鈴鹿大学と共催で実施した「留学生向け合同企業説明会in鈴鹿大学」のほか、企業の採用力の向上を図ることを目的とした「鈴鹿採用ブランディング連続講座」、「若者に選ばれる企業になるための採用広報セミナー」の開催、学生をはじめとする全求職者を対象とした「合同企業説明会inすずか」の実施など、様々な取り組みを実施しました。

さらに、「すずか」ならではの取り組みとして、鈴鹿サーキットで開催される「鈴鹿8時間耐久ロードレース」にて、本レースに招待された16歳から23歳の若者を対象に、企業の魅力を発信し、将来の雇用の促進を図るため、「16-23 & 企業交流会 in 鈴鹿8耐」を鈴鹿サーキットと共催で実施し、若者と企業の交流の場を提供しました。

その他、本市が運営するお仕事情報サイト「鈴鹿 de はたらこっ！」について、従来の市内企業の求人情報を中心とした内容から、企業の魅力発信に係る情報の追加や、利用者の利便性の向上等を図ることを目的に全面的な改修を実施しました。

企業版ふるさと納税は、本事業の実施に係る、運営費等に充当しております。

＜各プロジェクトの写真＞

（高校生向け出前講座）

（大学生向け出前講座）

（高校生向けインターンシップ）

（シゴトラベルinすずか）

（すずか職種研究会）

（留学生向け合同企業説明会in鈴鹿大学）

（企業向けセミナー）

（合同企業説明会inすずか）

（16-23 & 企業交流会in鈴鹿8耐）

④ みんなで支える　自分らしく生きるまち事業（シティプロモーション事業）

【実施事業内容】

当市では、「＃最高に住みやすいまち鈴鹿」を目指して、少子高齢化・人口減少時代に負けない持続可能なまちづくりを進めています。その中で、安全・安心な暮らしや次世代育成、産業振興、環境保全など地域の魅力と活力をさらに高める地方創生の取組を、企業版ふるさと納税制度を通じた企業様のご支援やパートナーシップにより加速することができています。

この度の寄附では、企業版ふるさと納税を活用して実施した取組を中心とした鈴鹿の未来へ繋がるまちづくりや、市の魅力を伝えるミニ番組を制作・放送し、東海圏を中心とする多くの皆様にリーチすることができました。

今後も、市で一丸となって、皆に選ばれるまちづくり進めていくとともに、市外の人には、当市の良さを知ってもらうことはもちろん、市民にもより愛着を持ってもらえるようなシティプロモーションを展開してまいります。

【番組概要】

チャネル：名古屋テレビ放送

東海ローカル 地上波テレビ番組『あすエール 輝くまちへ 』

テーマ　：自分が暮らす街を輝く明日に繋げたい

この番組は、未来を明るく照らすために熱い想いを持って活動する人たちやタッグを組んで様々なプロジェクトを推進する自治体および企業にエールを送ります。

放送日時：2026 年 3 月 3 日～ 31 日 毎週火曜 23:10 計 5 回放送

画像：朝日放送テレビ株式会社提供

【実施事業内容】

①子どもが輝き　人と文化を育むまち事業

（母子保健推進事業費）

【実施事業内容】

核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、妊娠や子育て家庭が地域から孤立し、悩みや不安を抱える御家庭が増加しています。安心して子育てができる環境の充実を図るため、紙の母子健康手帳を補完するサービスとして、令和７年１月２０日にデジタル母子健康手帳「すずっこ子育てアプリ」を導入しました。

本アプリを活用していただくことにより、妊娠届出・母子健康手帳交付の予約、伴走型相談支援に係るアンケート等の事前申請、妊婦教室等の予約のほか、当市から配信する出産・育児に関するアドバイスや地域の情報のお知らせなどをいち早く入手することが可能となります。

総合計画２０３１に掲げるＤＸの推進に向けた取組の一つとして、本アプリを導入することで、子育て家庭の育児不安の軽減や利便性の向上を図るとともに、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援をさらに強化し、一人ひとりの状況に応じた寄り添った支援を行い、市民の住みやすさ、満足度を向上させ、安心して子育てができるまちの実現を目指します。企業版ふるさと納税は、本アプリ導入にかかる費用に充当しております。

機能としましては、当市の子育て情報と本アプリを連携させることで、母子健康手帳のデータをスマートフォン、タブレット端末、PC等でデジタルデータとして管理ができます。大切なデータは、バックアップされるため、災害時など、いざという時でも、紛失等の心配もなくなります。

＜機能一覧＞

(1)　届出・予約機能等（アプリからアンケート回答、予約が可能）

・母子健康手帳交付の予約　　・妊娠8か月アンケートの送付、回答

・赤ちゃん訪問質問票の送付　・妊婦教室等の予約

(2)　当市からの情報配信（プッシュ通知等）

(3)　成長記録等管理機能

(4)　その他　ポルトガル語、スペイン語、英語等、12か国語に対応。

＜すずっこ子育てアプリ＞

市から配信された子育て情報を閲覧

利用者の閲覧を促す工夫

▼「お知らせ」等と合わせて配信した場合

プッシュ通知を押下するとお知らせに直接遷移

▼「プッシュ通知を単体で配信した場合

プッシュ通知を押下するとHOME画面に遷移

【寄附金活用事業】

②子どもが輝き　人と文化を育むまち事業

（多目的スポーツ施設整備費）

【実施事業内容】

新たなスポーツによる本市スポーツ人口の増加や、競技力向上に寄与することを目的として、東京オリンピックで脚光を浴びたスケートボードや３on３といった近年注目度の高いアーバンスポーツが行える施設を整備しました。企業版ふるさと納税は、施設整備に係る費用に充当しております。

整備内容としましては、市内の鼓ケ浦サン・スポーツランド内にあるクリケットコートを改修し、スケートボード滑走のため通常よりも表面を硬質、平滑に仕上げたコンクリートを敷き、また、バスケット等の防球用として整備区域をフェンスで囲う工事を実施しました。

このことにより、近隣市では初めてとなる公営で、職員が常駐するスケートボード滑走可能施設ということで、供用開始直後から、市内だけでなく市外からも利用客が訪れており、整備前はほとんど利用者のなかった施設が、有効に活用できるようになりました。

また、整備したことで、潜在的に、競技スペースが無く施設整備のニーズがあったＢＭＸやインラインスケートなど、他のアーバンスポーツ愛好者からの問い合わせも多く、運用方法を適切に検討することで、より活気のある施設へ発展していくことが期待されています。

＜施設写真＞

【寄附金活用事業】

③持続可能な産業の発展と　にぎわいや交流が生まれるまち事業

（雇用経済政策推進事業費）

【実施事業内容】

当市では、市内企業、高等学校、高等教育機関、鈴鹿商工会議所などの産学官で構成された鈴鹿市雇用促進連携協議会が中心となり、令和６年度から「鈴鹿　ｄｅ　はたらこっ！プロジェクト」を創設しております。

本プロジェクトでは、学生をはじめとした全ての求職者を対象に、市内企業のＰＲや市内企業とのマッチングを行うほか、企業の採用力を向上する取組などを展開し、更なる雇用拡大を図っております。

特に、令和６年度においては、鈴鹿市雇用促進連携協議会を中心として、当市の雇用を促進するため、大学生を対象とした「鈴鹿　ｄｅ　はたらこっ！合同企業説明会」の開催や、企業及び高校を対象とした各見学ツアーの実施の他、ＵＩターン就職の促進を図ることを目的とした「鈴鹿　ｄｅ　はたらこっ！就職フェア　ＩＮ　ＴＯＫＹＯ」、学生をはじめ、全求職者を対象とした「合同企業説明会　ｉｎ　すずか」の開催など、様々なプロジェクトを実施することができました。

企業版ふるさと納税は、本事業の実施に係る、運営費等に充当しております。

＜各プロジェクトの様子＞

鈴鹿 de はたらこっ！就職フェア IN TOKYO

採用力向上セミナー

合同企業説明会 in すずか

鈴鹿 de はたらこっ！
合同企業説明会

市内高校見学ツアー

市内企業見学ツアー

【寄附金活用事業】

④自然と調和し　快適な都市環境を未来へつなぐまち事業

（公園施設長寿命化施設整備費）

【実施事業内容】

鈴鹿フラワーパークにインクルーシブ遊具を設置しました。

インクルーシブ（inclusive）とは、英語で「全て包む」を意味し、障がいの有無や年齢などにかかわらず誰もが遊べる遊具です。

本市では、インクルーシブ遊具として公園への設置は初めてとなり、今後はみんなが楽しむことができる公園を広げていくために、順次市内の公園にインクルーシブ遊具を設置していきたいと考えています。

企業版ふるさと納税は、遊具設置に係る経費に充当しております。

＜設置遊具：テンスピン（回転遊具）＞

座っても立っても乗れ、乗らずに回す役も楽しめて、皆で一体感のある遊び方ができる遊具です。